



ジュニアスピードスケート世界大会 YSアリーナを舞台に開催!

来年、2024年2月、YSアリーナを舞台に八戸市で二つのジュニアスピードスケートの世界大会が開催されます。これらの大会は、2024 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会と2023/24 ISUジュニアワールドカップスピードスケート競技大会の2つ。

八戸市でのスピードスケートの世界大会は初めてということもあり盛り上がりも必至。観戦を希望する一般市民は入場無料となります。

5日間にわたり氷都八戸で繰り広げられる世界中のジュニアトップ選手たちによる熱い戦いにご注目ください!

【大会概要】

●2024 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会

開催日:2024年2月9日(金)~2月11日(日)

種目:女子500m、1000m、1500m、3000m、マススタート、チームスプリント
男子500m、1000m、1500m、3000m、マススタート、チームスプリント

●2023/24 ISUジュニアワールドカップスピードスケート競技大会

開催日:2024年2月3日(土)~2月4日(日)

種目:女子500m、1000m、1500m、3000m、マススタート、チームパシュート、チームスプリント
男子500m、1000m、1500m、5000m、マススタート、チームパシュート、チームスプリント



やっほー

story 表紙のはなし

キンメダイとせりの紅玉鍋(キンメダイとせりのこうぎょくなべ)



鮮やかな赤色で縁起の良い魚とされるキンメダイは、12~2月に旬を迎えます。身は脂がのっけながら淡白、甘みさえ感じられるのが魅力。煮つけ・焼き魚・お刺身と調理法を選ばない万能選手ですが、今回はだしと身の両方を堪能できる「キンメダイとせりの紅玉鍋」に。キンメダイの旨みを、すりおろした紅玉の爽やかな酸味が引き立てます。

このキンメダイが今、八戸の新名物として注目されています。八戸市湊町にある開洋漁業株式会社では、2013年に大型底引き網船・第51開洋丸を新造。八戸から6昼夜航行した北太平洋漁場・天皇海山に乗り出し、安定的にキンメダイを漁獲できるようになりました。漁獲直後に船内で急速冷凍できるので抜群鮮度。同船は漁船で初めて、(公社)日本船舶海洋工学会技術的・芸術的・社会的に優れた船に贈られる「シップオブザイヤー」を受賞しました。

魚食家さんき 八戸市鷹匠小路18 金剛ビル3F ☎ 0178-44-6787

※「キンメダイとせりの紅玉鍋」は要予約。

murmur つぶやき

2023年ニューヨーク・タイムズで盛岡市が「今年行くべき52か所」としてイギリスの首都ロンドンに続く2番目に紹介された。

さっそく訪ねてみると街の中心には川が流れ歴史的建造物が建ち並び素敵なカフェが存在する。まさに歩いて回れる宝石のスポット。

しかし八戸も決して負けてはいない。種差海岸、みちのく潮風トレイル、夜の横丁、朝市、そして八食センターと盛岡にはない港町ならではの場所がたくさん存在する。

それをどう知ってもらい

どう巡ってもらえるかが勝負!

せっかく世界的に注目されたのだから八戸もそれに便乗すべきである。

「盛岡のついでに行った八戸はもっと魅力的だった!」となるべく、この事を好機と捉え八戸の観光PRと整備を急ぎ進めなくてはならない。

金剛グループ代表 大久保 圭一郎

令和6年度税制改正 提言活動

税理士コラム いつ来るかわからない災害
税理士 佐々木 達仁さん

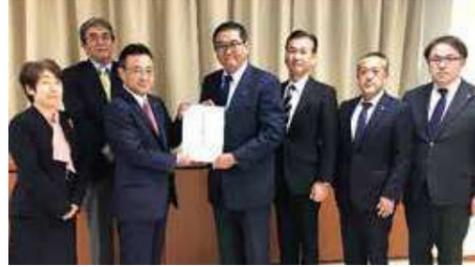
経営者物語

建設業の未来を見据え動き出した 内装一筋50年のパイオニア
みちのく興業(株) 代表取締役社長 飯田 和雄さん

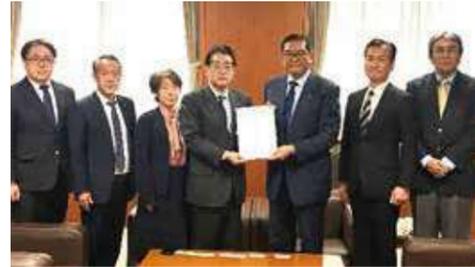
令和6年度税制改正に関する提言活動

全国の法人会では、全国法人会総連合で取りまとめられた「令和6年度税制改正に関する提言」を全法連、各県連、各法人会が分担して毎年提言活動を行っています。当法人会では11月10日に熊谷雄一八戸市長、小屋敷孝市議会議長に当法人会会長、副会長にて要望活動を行いました。提言内容は、コロナ対策費等での財源として発行された膨大な国債を踏まえ、税・財政改革のあり方、経済活性化と中小企業対策について要望しました。

また11月1日には、青森県に対しての提言活動として、小谷副知事・寺田副議長への活動に佐々木副会長が参加しました。



熊谷市長へ提言



小屋敷市議会議長へ提言

納税表彰

11月7日、仙台国税局、清水局長より多年にわたり申告納税制度の普及発展などに貢献したとして、当法人会副会長の石亀石油(株)代表取締役石亀和郎氏が仙台国税局局長表彰を受賞しました。



石亀和郎副会長

租税教育推進校等表彰制度

青年部会(類家徳久部会長)は、11月15日、長年にわたる租税教育の推進に尽くされた功績に対し、清水仙台国税局長より感謝状を贈呈されました。



左:盛田署長 右:類家徳久青年部会長

「税に関するイラスト・標語」表彰

11月9日、三八租税教育推進協議会が主催した、令和5年度「税に関するイラスト・標語」作品表彰式をラピアホールで開催し、八戸法人会会長賞を授与しました。

〈標語〉八戸法人会会長賞

八戸市立根城中学校 3年 犹守 奏子さん

〈イラスト〉八戸法人会会長賞

三戸町立三戸小学校 6年 大村 菜摘さん



犹守 奏子さん 石橋副会長

大村 菜摘さん 石亀副会長

盛田八戸税務署長が語る酒類業界の今

11月7日、八戸パークホテルにて八戸間税会と八戸法人会青年・女性部の合同研修会を開催。3団体合わせて50名が出席しました。会では今年7月に着任した盛田浩明八戸税務署長が、「酒類業界の現状とお酒の楽しみ方」と題して講話。



盛田浩明八戸税務署長

長年、酒税・酒類担当部門に携わってきた自身の体験談を織り交ぜながら、国の税収における酒税の割合や日本酒の特定名称酒について解説しました。

毎年恒例の税金クイズ大会!@ラピア

青年部会(類家徳久部会長)は、11月11日、12日、税金クイズ大会「チャレンジ!クイズだ“税”」をラピア1階フェスタプラザにて開催しました。

この大会は国税庁が定める「税を考える週間」に合わせて毎年行っており、参加者は問題を解きながら税に関する理解を深めました。

正答率上位者から抽選で、30名にクオカードをお贈りしました。



ラピアフェスタプラザでの「税金クイズ大会」

青年部会「はちのへまじ婚」

10月21日に八戸パークホテルにて青年部会(類家徳久部会長)主催「はちのへまじ婚」を8か月振りに開催しました。

同イベントは、13回目を迎え参加者年齢を30歳～45歳と限定して開催。男性16名、女性16名、計32名の参加者で、第1部は参加者が1対1での自己紹介タイム、第2部は飲食しながら会話を楽しめる「パーティタイム」として開催し盛況のうちに幕を閉じました。



開会のあいさつをする類家青年部会長

「税に関する絵はがきコンクール」選考会

女性部会(市川恵子部会長)では11月6日に、第16回目となる「税に関する絵はがきコンクール」の選考会を開催しました。今年も小学生6年生を対象に応募の呼びかけを行った結果、昨年を上回る9校435点の応募があり、八戸税務署長賞、八戸法人会会長賞、青年部会長賞、女性部会長賞を含む20作品が選出されました。また選出された作品の中から青森県法人会連合会での選考会へ進みます。



Be-FMで法人会活動PR

11月11日から17日までの「税を考える週間」において青年部会・女性部会が毎年交互にラジオ番組に出演しています。

今年は、青年部会副会長で(株)トーショー代表取締役社長の加藤範尚氏がBe-FMのスタジオで収録し、期間中の行事と法人会活動をPRをしました。



Be-FM番組にてPRする加藤副会長

第37回「法人会全国青年の集い」山形大会開催

11月9日、10日に山形県のホテルメトロポリタン山形において、全法連、法人会全国青年の集い(山形大会)が開催されました。

当法人会青年部会から類家部会長、加藤副会長、河村顧問が参加しました。大会1日目の9日には、「租税教育活動プレゼンテーション・健康経営大賞」が、大会2日目の10日の午前は、部会長サミット・会員交流分科会、午後からは記念講演、大会式典が開催され全国の青年部会員との交流を図りました。



左から 加藤副会長 類家部会長 河村顧問

種差海岸清掃活動

女性部会(市川恵子部会長)は、10月5日に「種差海岸散策とクリーンアップ作戦」として葦毛崎展望台から大須賀海岸まで部会員11名で清掃活動を実施しました。

当日は、雨の心配をしましたが、天気に恵まれ、はまぎくが咲く遊歩道や岩場周辺の清掃活動に励みました。



参加者からひと言 (有)マモル商運 守田 恵
清掃しながら歩いた種差海岸の景色は、とても素敵な眺めでした。

第39回 法人会全国大会(群馬大会)開催

10月18日に群馬県の高崎芸術劇場において、全法連、全国大会(群馬大会)が開催されました。

当日は当法人会から横町会長、佐々木筆頭副会長、事務局の石橋が参加しました。

全国から約1,400名の企業経営者が集結し、第1部日本通信(株)代表取締役社長で、公立大学前橋工科大学理事長の福田尚久氏が「好機到来」と題し記念講演、第2部の式典では令和6年度の税制改正提言の報告や青年部会による租税教室活動の事例発表等が行われました。





経営者物語

建設業の未来を 見据え動き出した 内装一筋50年の パイオニア

みちのく興業株式会社
代表取締役社長

いいた かずお
飯田 和雄さん

100名以上の専属作業員が在籍
チームワークと施工力が自慢

1972年創業。八戸地域の内装工事業のパイオニア企業として、50年を超える歴史を刻んできたみちのく興業。東北6県を中心に北海道・関東でも工事を手掛けています。

「内装と言うとクロスを貼ったり絨毯を敷いたりといったことをイメージされるかもしれませんが、当社では建物の中の壁や天井の下地を軽量鉄骨でくみ上げるのが主な業務。“箱”である建物の中に“空間”を作り上げる、いわば、建物に命を吹き込み、個性を生み出す仕事だと捉えています」と話すのは、同社代表取締役の飯田和雄さんです。

「私たちの強みは施工力。突貫工事や難易度の高い工程にも対応でき



profile

みちのく興業(株)創業者・飯田雄一氏の次男として八戸市に生まれる。「おはよう」「にっこり」「ありがとう」をモットーとし、会社のスローガンにもしている。方言研究家・川柳作家の渋谷伯龍氏が贈られた同内容の書が宝物。趣味はマッサージ、サウナ、バイクツーリング。ファスティング(断食)を取り入れ体質改善に取り組む。

1995年 駒澤大学仏教学部禅学科卒業
1996年 都内の建材メーカーに就職
2001年 みちのく興業(株)入社
●●年 ●●役
2012年 同社代表取締役社長就任

ることでお客さまから信用をいただいていると感じます。そして信用と実績を積み重ねることができるのは、社員や100名以上の専属作業員のおかげ。当社が得意とする大型工事も、多くの人の協力がなければ成り立ちません。関わる人の幸せを一番に考えています」

同社では職人を目指す社員の独立も支援。社内で優れた職人を養成・輩出するというキャリアパスを用意することで、若手に「経営者になれる」という希望を与えるほか、業界全体のレベルアップにもつなげたい考えです。

「どんな仕事も楽なことばかりではないと思います。だからこそ社員には、業務の中に自らやりがいを見出し、会社という環境を利用して成長して欲しいですね」



僧侶がら建設業へ。先輩の“愛ある厳しさ”に鍛えられて

19●年、同社創業者でもある父・雄一さんの次男として誕生した飯田さん。大学案内パンフレットで見かけた凛々しい僧侶の姿に惹かれ、駒澤大学仏教学部へ進学しました。

「祖母はお寺の長女だったので、今思えば何かご縁を感じていたのかもしれません」

勉学に励み、卒業後は曹洞宗の大本山・永平寺で修行を積むことも決まります。しかし得度の準備に入っていた4年生のある日、菩提寺の住職が体調不良に。得度式の予定が白紙となったところへ、それまで後継者と目されていた兄が「家業を継がない」と宣言。急転直下、飯田さんに家業承継の話が回ってきました。

「いずれは僧侶の世界に入ることを条件に引き受けました。と

も、出家するつもりだった私に建築の知識があるわけではない」

そこで修行として、都内の建材メーカーで営業職として働くことに。しかしバブル経済崩壊直後のこと、飛び込み営業は当たり前、契約のためには休日返上も珍しい職場環境だったとか。

「営業、書類作成、現場管理と一通りの業務を任せられ、言葉遣い、動作、服装、一つ一つを厳しく指導していただいて。今で言うブラック企業ですね(笑)。一方で、いずれ地元に戻る身だと分かっているにも変に特別扱いされることは一切なく、何があっても突き放さず面倒をみてくれた。会社の皆で遊びに行く日に私に現場仕事が入った時も、先輩が待っていてくれました。愛のある厳しさというんでしょうか。東京での5年間は、今も私の何にも替えられない財産です」

2022年に創業50周年を迎えた同社では記念式典を開催。飯田さんは会場に当時の先輩を招待し、感謝の気持ちを伝えました。

ものづくりの楽しさを伝え、若者が希望を持てる建設業界に

かつて“きつい・汚い・危険”の“3K”職種と言われた建設業。国は“給与・休暇・希望”の面で満足しながら働ける“新3K”を掲げており、実現のためには各企業が積極的に労働環境の改善に取り組まなくてはなりません。

飯田さんも「担い手不足が一番の課題。今後10年の間には、仕事はあっても人員が確保できない状況になる可能性が高い」と危機感を募らせており、同社では男性の育児休暇取得推進、資格取得・スキルアップ研修費用の支給など、社員が働きやすい環境を整えてきました。

そして今、採用にも力を入れています。ホームページをスマホ表示に対応させ、自社でアニメーション動画を制作しリクルートに活用。再生速度を上げて理解しやすいようテロップを入れるなど、若い世代のライフスタイルに寄り添うことを心がけました。

また人材確保のためには業界全体で



の採用活動が重要と考え、県内約20社で結成された青森県専門工事業担い手確保推進協議会に参画しました。今年10月には土木・解体・左官などの事業者とともに、八戸市で初となる高校生に向けた合同企業説明会を開催。当日は市内の高校2年生100名以上が参加しました。

「事後のアンケートでは『建設業は危険、怖いなどのイメージがあったが楽しく仕事ができそうだと感じた』『やりたい職種が見つかった』といった感想が寄せられ、嬉しかったです。来年からは体験会を開き、ものづくりの楽しさや将来性を伝えたい。建設業は社会に必ず必要な仕事だと思っていますので、業界のイメージアップを図って、若い世代が入りたいと思えるようにしていきたいですね」

同社では2024年春、3名の若者が社会人としての一歩を踏み出します。



みちのく興業株式会社

【創業】 1972(昭和47)年
【事業内容】 内装工事
建築一式・増改築一式工事
【所在地】 〒039-1103
八戸市長苗代化石26-3
【連絡先】 0178-20-8828

“今千里ステージ”「感謝の夕べ」開催

12月1日、八戸プラザホテルアーバンホールにて厚生委員会(中居林達也委員長)主管の恒例イベント「感謝の夕べ」が開催されました。

今年のステージには東北を中心に活動する青森市在住のミュージシャン今千里さんが登場。自慢の津軽三味線を演奏しながら歌い上げるスタイルで、ポップスから演歌まで幅広いジャンルの曲を披露すると会場は大きな歓声に包まれました。“ハズレなし”の大抽選会では次々と当選者が発表され、最後は全員が賞品を手会場を後にしました。



三戸支部セミナー開催

三戸支部(石亀和郎支部長)は、11月17日(金)、三戸高等学校講堂において、「エンパワメント青森」主宰の津島弘美氏を講師としてアンガーマネジメントセミナー「これからの人生に大切なコミュニケーション」講演会を開催しました。



感情に支配され怒りに振りまわされないようにするための方法などについて具体例を交えながら、アンガーマネジメントの大切さについて学びました。

「エンパワメント青森」主宰
津島弘美氏

五戸支部税務セミナー

五戸支部(川村義明支部長)は、11月22日(水)「アピル五戸」にて、八戸税務署法人課税第一部門 統括国税調査官 庄子哲男氏を招き、「インボイス講習会」を行ないました。

今年10月1日から実施された制度ということで、参加者は熱心に講習を受け、請求書等の記載内容等について改めて確認していました。



電子帳簿等保存制度 活用のポイント

12月12日、八戸総合卸センターコネクトホールにて税務セミナーを開催。八戸税務署法人課税第一部門 統括国税調査官 庄子哲男氏が講師を務め、電子帳簿保存法で定められている電子帳簿等保存制度のメリットや留意点について解説しました。同制度の中でも「電子取引データ保存」は令和6年1月から義務化。全ての法人・個人事業主が対応を迫られることから、参加者がメモを取るなどして知識習得に務める様子が見られました。



八戸税務署法人課税第一部門
統括国税調査官 庄子哲男氏

最適な贈与制度の選び方

2024年1月から贈与に関する税制が改正されることを受け、相続税制改正セミナーを開催。改正をふまえた贈与制度の選択判断のポイントを、三ツ石直樹税理士事務所(三戸町)代表の三ツ石直樹氏が解説しました。相続税の申告は開始から10カ月間という短期間で行わねばならないことから、冒頭、「ご家族のためにもぜひ相続対策のご検討を」と呼びかけた同氏。暦年贈与の生前贈与加算



三ツ石直樹税理士

期間の引き上げや、相続時精算課税制度に対する基礎控除枠の追加など、主な改正点を図を用いて説きました。その後、各制度の使い分けをモデルケースを挙げながら説明。参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

令和5年度 第2回親睦交流ゴルフ大会結果報告

令和5年10月14日(土)
八戸カントリークラブ
参加者 47名
懇親会参加者 44名

優勝	増田 敏氏(太平ビルサービス(株)八戸支店)
準優勝	坂 州代氏(ドンク・ドンク)
ベストグロス賞	寺沢 政男氏(株テクノ中央)
レディース部門 優勝	優勝 坂 州代氏(ドンク・ドンク)



(左)横町会長 (右)増田敏氏

税理士コラム

いつ来るかわからない災害

佐々木達仁税理士事務所 税理士 佐々木 達仁

大雨・土砂災害の発生など私たちが取り巻く環境は厳しいものになってきています。災害が発生した際には、甚大な被害により、会計上の災害損失の計上や税務上の損金算入(経費認容)、および欠損金の繰越・繰戻しといった特別な制度があります。いつ襲ってくるかわからない災害に遭遇したときの、税務上の取り扱い・会計処理について説明をしたいと思います。

災害とは、
自然災害…地震・風水害・火災・冷害・雪害・落雷・干害・噴火など自然現象による災害
人為的災害…鉱害、火薬類の爆発・火災・その他人為的災害
生物による災害…害虫・害獣(熊・イノシシ・鹿など)生物による災害

災害による損失の会計処理とは、
災害によって生じた棚卸資産・固定資産および一定の繰延資産にかかる損失は、災害損失として特別損失に計上することになります。災害損失の範囲は、直接的な資産の損失だけではな

く、その後の除去作業・事後処理などの修繕費、また、災害から1年以内に行われた修繕費用等も含まれます。災害による税務上の取扱い、被災した法人の災害損失などに関する法人税の取扱いは、つぎのとおりです。

1.災害により滅失・損壊した資産等

- イ、商品や原材料等の棚卸資産、店舗や事務所等の固定資産などの資産が災害により滅失又は損壊した場合の損失
- ロ、損壊した資産の取り壊し又は除去のための費用
- ハ、土砂などの障害物の除去のための費用

2.資産の評価損

法人の所有する棚卸資産、固定資産または一定の繰延資産について、災害による著しい損傷が生じたことにより、その時価が帳簿価格を下回ることとなった場合には、帳簿価格と時価との差額を評価損として計上し、損金算入することにより、損金算入できます。

3.復旧のために支出する費用

法人が災害により被害を受けた被災資産の復旧に関して支出する費用は、修繕費と資本的支出とに区分され、修繕費として処理されたものは損金算入できます。

- イ、被災資産の原状回復の為の費用……修繕費
- ロ、被災資産の被災前の効用を維持するための補強工事
排水・土砂崩れ防止等の為に支出する費用……修繕費
- ハ、被災資産について支出する費用のうち(イ・ロを除く)資本的支出か修繕費が明らかでないもの…30%相当額
(修繕費)残額⇒資本的支出

災害損失欠損金の繰越控除・繰戻し還付の適用関係については、別の機会に。

税務署からのお知らせ

消費税のインボイス制度説明会、登録要否相談会のご案内

- 現在、開催が予定されている説明会等は以下の通りです。(今後、随時更新することを予定していますので、適時ご確認ください。)
- 「登録要否相談会」は、登録するか否かを検討されている方に必要な情報を個別にご案内する相談会です。
- 説明会及び登録要否相談会は事前予約制で開催していますので、参加希望の方は「申し込み先」にお電話でお問い合わせください。なお、予約の申込状況等により、ご希望に添えない可能性がありますことをあらかじめご了承ください。
- 駐車場には限りがございますので、ご来場の際には、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

説明会開催日時	定員	内容	会場	事前申込期限
1月24日(水) 14:00~15:00	40名	インボイス制度説明会 登録要否説明会	八戸市立 江陽公民館 2F ホール 八戸市江陽2-18-34 ●駐車場の台数には 限りがあります。	1月17日(水)17:00迄に お電話で受付
2月21日(水) 14:00~15:00				2月14日(水)17:00迄に お電話で受付
3月27日(水) 14:00~15:00				3月21日(木)17:00迄に お電話で受付

【申し込み先】八戸税務署 法人課税第一部門 ☎0178-43-0145 【主催】八戸税務署